

# 胸部CT検査をお勧めします！

## —肺ガンの早期発見に威力発揮—

ご予約はお電話・FAX・インターネットで！

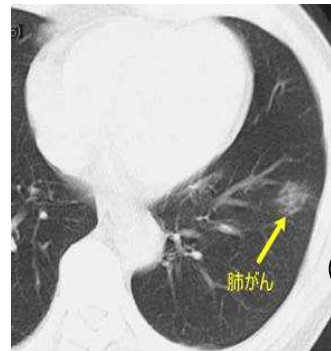
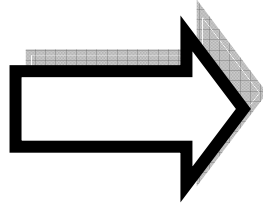
日本人の肺ガン死亡数は40年前と比べ男女とも40倍に増加しています。1998年には男女全体でもガン死亡の1位になりました。現在行われている肺ガン検査は胸部レントゲンが主流ですが、微小病変を早期に発見するという点では不十分といわれています。当ドッククリニックでは救命可能な早期肺ガンの発見をめざして、高分解能マルチスライスヘリカルCTを導入し、微細な肺ガンの発見に努めています。

### その1 だから胸部CT！

胸部レントゲン検査では肋骨 鎖骨 心臓などの後ろに重なっている病変や、小さな病変を発見することは困難な場合があります。マルチスライスヘリカルCTは、体の輪切りの写真を薄く撮影しますので、レントゲンでは見つかりにくい微細な肺がん等も発見できることがあります。



レントゲンでは正常に見えても・・・



この方は無症状でした。

CTで撮影すると肺がんが見つかります。

### その2 マルチスライスCTの特徴

当施設が使用しているマルチスライスヘリカルCTは、一回の息止め（約20秒前後）で、肺全体を隅々まで撮影することができ、長時間呼吸停止の必要がなく高齢の方や呼吸器疾患のある方でも安心して検査を受けることができます。また必要に応じて病変部を2mm（従来は5mm）でさらに拡大・細分化し、病変の診断に役立てています。

### その3

## CTでこんなことがわかります！

見つけることができる病変は、肺ガン、肺気腫、結核、肺炎はもちろん肺の炎症や気管支病変等です。ただ、これらの病変は互いに似た様な像をしているので、肺ガンなどは確定診断のため医療機関でCTガイド下肺生検、気管支鏡などの組織の一部を採取する精密検査を受けなければならない事があります。

### その4

## このような方にお勧めです！

- ★喫煙習慣のある方（目安は1日当たりの喫煙本数×喫煙年数が400以上）
- ★両親や兄弟姉妹にガンの人がいた方
- ★胸部レントゲンで過去に異常があったと言われた事がある方
- ★呼吸器などに自覚症状がある方（咳・痰・胸痛など）